

# 施設使用後の消毒作業の手順

## 利用団体に準備する用具

- 消毒液またはハイター（次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする漂白剤）
- バケツ
- 使い捨てのビニール手袋（手に入らない場合はゴム手袋でも可）
- 雑巾2～3枚
- ゴミ袋
- 手指消毒液（必要な団体）

## 作業の手順

### ①消毒液の作成（0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウム液）

□次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする漂白剤を水道水で希釈します。

※濃度は、水1000mlに対し、ハイター25ml（付属のキャップ1杯）

の割合で希釈します。（使用する漂白剤の種類により希釈濃度が異なる場合があるため、使用前に必ず確認をしてから希釈するようにしてください）

### ②消毒作業

□消毒液を使って、トイレ・洗面台・スイッチ・扉（取手）等多くの人が手を触れる場所を拭き上げます。

→拭き上げは、雑巾をよく絞って行ってください。

サッカーゴール、バレーボールの支柱などの金属製の備品等については、金属の腐食を防ぐため、消毒をした後に必ず水拭きを行ってください。

□フロアについては、乾いたモップがけで構いませんが、活動中の汗が落ちている場所については、消毒を行う必要があります。

→消毒液を使用する場合は確実にふき取ること（フロアの材質やワックスの種類によっては、消毒により白濁する可能性があります）。

□作業終了後すぐに施錠できるよう、荷物をまとめておくことや少人数で作業に当たるなどの工夫をお願いします。

→消毒後に再び施設内の物に触れることは、再度消毒作業を行う必要が発生しますので注意してください。

（裏面に続く）

③作業終了

□作業終了後は、自分の身を守るために十分に手を洗います。手洗い場がない場合は、アルコールで手指消毒を行います。

→ビニール手袋を着用して消毒作業を行いますが、作業後は必ず手指洗浄または手指消毒を行ってください。

□消毒作業後の使用済みビニール手袋等のゴミは、ゴミ袋に入れ口をしっかり締めて持ち帰り、適切に処分してください。